

第2学年

書くこと①

観察メモをもとに書きたいことを決め、簡単な構成を考えて文章を書くこと

つまずきの実態

～こんな児童の姿が見られませんか？～

観察したことから書くことを選んだり、簡単な構成で文章を書いたりすることができない。

メモから文章にする時に、書く内容をメモから選ばない。

つぼみが5つさいて
います。
いちばん大きなつ
ぼみは、こめつぶく
らいの大きさです。
いちばん小さいつ
ぼみは、ごまくらいで
す。
つぼみのおいは、
ピーマンのおいがし
ます。

メモに書いた順番どおりに書いていて、一番伝えたいこととは関係していない。

実践の概要

単元名

かんさつ名人になろう

『かんさつ名人になろう』光村図書

目標 植物の生長を、観察記録文にして1年生に伝える。

- 内容
- ・観察メモを取る。
 - ・メモから自分が伝えたいことを決める。
 - ・観察記録文を書く。
 - ・1年生に観察記録文を読んで聞かせる。

学習内容の系統と各学年に見られるつまずき

	学習内容 (単元名)	つまずきの実態
第6学年	説得力のある意見文を書いて、お別れ遠足の思い出を作ろう	自分の意見が深められなかったり、自分の考えを支える効果的な根拠が挙げられなかったりしている。
第5学年	提案書を書いて、班のつどいを『超変革』!	自分の考えを、他の視点から見直したり、他の条件などと関係付けたりすることができない。
第4学年	3年生にクラブのよさを伝えよう	自分の考えを明確にして、伝えたいことを写真や絵と関係付けた紹介文を書けていない。
第3学年	ぼうけん物語の作者になって出版記念会を開こう	内容的なつながりを考えて書きたいことを決めることができない。
第2学年	かんさつ名人になろう	観察したことから書くことを選んだり、簡単な構成で文章を書いたりすることができない。
第1学年	しらせたいなカードで、鈴原小学校の『いきもの』をしらせよう	メモしたことをもとにして、観点ごとにまとまりのある文章に書き表せない。

単元末の目指す姿

- ・観察メモの中から情報を選び、友達に伝える（音声言語化する）ことで、自分の考えを明確にできるようになる。
- ・取材と構成・記述とを往復できるワークシートにすることで、考えを整理したり深めたりすることができるようになる。

つまずき解消に向けた指導の工夫 ①

観察メモからわかることについて、お尋ねを中心にペアで交流させる。

活動のねらい▶ ・1年生に伝えるべき生長が植物のどの部分にあるかを明確にできる。

ここが
ポイント

「もっとも伝えたいことは何か」と言われても、低学年児童が考えをつくることは難しい。友達の「生長したところはどこですか」という質問に答えさせることで考えを明確にさせることができる。

授業の様子



どこがいちばん生長
しましたか？

ぼくが生長をいちばん感じたのは
実の大きさです。

(期待される児童の姿)

友達の質問について、自分が1年生に伝えたい植物の生長部分を、観察メモから選んで発表(言語化)することで、自分が伝えたいことを明確にすることができる。

つまずき解消に向けた指導の工夫 ②

観察メモを見ながら、観察記録文が書けるワークシートを活用する。

活動のねらい▶ ・取材と記述を往復することができる。

ワークシート

ここが
ポイント

ワークシートを上下段に分けてノートに貼れるようにする。上が観察メモ(取材)で下が観察記録文になっている。上下に貼ることにより、取材と構成・記述を往復することができ、考えを深められる。

(期待される児童の姿)

友達の質問に答えることで明らかとなった自分が伝えたいことに、赤鉛筆でマークをさせる。そのワークシートを上段に置くことで、自分の伝えたいことから観察記録文を書くことができる。

